

第三天使の使命-獣の像

黙示録 14:9-11

「ほかの第三の御使が彼らに続いてきて、大声で言った、「おおよそ、獣とその像とを拝み、額や手に刻印を受ける者は、神の怒りの杯に混ぜものなしに盛られた、神の激しい怒りのぶどう酒を飲み、聖なる御使たちと小羊との前で、火と硫黄とで苦しめられる。その苦しみの煙は世々限りなく立ちのぼり、そして、獣とその像とを拝む者、また、だれでもその名の刻印を受けている者は、昼も夜も休みが得られない」

いくつかの重要なこと三つのことに対する警告：

1. 獣を拝むこと。
 2. 獣の像を拝むこと。
 3. 額や手に刻印を受けること。
 4. 獣とその像とを拝み、獣の刻印を受ける者たちの運命：
- } それぞれ何を意味するか？
- ①神の怒りの杯に混ぜものなしに盛られた、神の激しい怒りのぶどう酒を飲む。
 - ②その者たちが人硫黄で苦しめられるとはどういう意味か？

獣とは、ローマ・カトリックのシステムとその中の信者を区別しなければならない。なぜなら、そのカトリック教会の中には多くの神の民がいる。大争闘下 321.

黙示録 14 章の獣と獣の像とは何かを知るためには、黙示録 13 章を見なければならない。

黙示録 13 章を理解するためには、

ダニエル 7 章： しし=バビロン→熊=メド・ペルシャ→ギリシャ=ひょう→~~龍~~ローマ→10の角=分裂したヨーロッパ→小さい角=ローマ法王教→1260年支配→1798年に致命的傷を受ける

黙示録 12 章： 10の角を持つ龍(サタン)に迫害される女(真の教会)→1260年 地は女を助ける→再び迫害

黙示録 13 章： しし←熊←ひょう ←龍が①10の角を持つ海獣=ローマ法王教に力と位と権威を与える→42か月支配→獣は死ぬほどの傷を受ける→その致命的な傷もなおってしまった(復活ローマ法王教)。そこで、全地の人々は驚きおそれて、その獣に従う。

ダニエル 7 章、黙示録 12 章、黙示録 13 章は、同じ預言！平行、類似した預言！共通した預言！

どこから始まる？—龍=ローマ→10の角を持つ→1260年の支配期間→ローマ傷を受ける(迫害止む)→

傷が治る→復活ローマ。

黙示録 13 : 12 第二の獣=地獣=小羊のような二つの角を持つはこの国か？

1. 地から—先のすべての獣は海から上って来た。人口の少ない国。
2. 西の方に出現、バビロンとペルシャは東、豹(ギリシャ)と龍(ローマ)、この地獣はさらに西。アジアでもなければ、ヨーロッパでもない。
3. 戦争によって出現する国ではない。先の帝国は戦争に勝って出現してきた。「植物のように」現れる国。

「しかし、小羊のような角をもった獣は、「地から上って来る」のが見えたのであった。このように表わされる国は、自国を確立するために他の諸国を覆すのではなくて、まだだれにも占有されていない領土に起こり、徐々にまた平和のうちに成長する国でなければならない。したがって、旧世界の込み合った争い合う国々

の中、すなわち、あの「民族、群衆、国民、国語」の荒海の中からは起こり得ないのである。それは、西半球の大陸に求められねばならない」大争闘下 159.

4. 迫害されてきた女(教会)を助ける国、神の民の逃げ場となる。
5. 小羊のような角＝キリスト教の原則、プロテスタントの原則。なぜなら、ヨーロッパのカトリック支配からのがれてきた女(教会)。アメリカの権力と繁栄の秘訣(大争闘下 161.
6. 二つの原則＝政治権力(共和政体＝人民による人民のための政治)と宗教権力(プロテスタント主義＝宗教自由)、政教分離の原則。
7. 1260 年の暗黒、迫害時代の終わった 1798 年頃に出現する国。
8. 小さく出発するが世界的に影響を及ぼす国に発展する国。スーパーパワー、世界第一帝国に発展する。
 - ①世界第一の経済大国に発展。
 - ②政治的、軍事的に世界第一の大国に発展。
 - ③宗教的(プロテスタント)な大国。

どこ、いつ、国の特徴から考えて米国以外に当てはまる国はない!

「1798 年に、新世界のどんな国が、勢力を伸ばし、将来強大な国家になる可能性を示して、世界の注目を集めていたであろうか。この象徴が、どの国に適用されるかは、実に明白である。この預言の指示するところに合致する国は、ただ一つしかない。それは、疑いもなく、アメリカ合衆国を指している」大争闘下 159.

米国副大統領のチェニーは、外国問題評議会で、テロ撲滅について 2002 年 2 月 6 日に演説をおこなった。

「唯一アメリカだけがこの計画に勝利をもたらすことのできる国である。この責務は偶然に我々に臨んだのではない。わが国のユニークな資産、国民の特徴、理想の力、我々の軍事力とそれを支える巨大な経済力があるから、我々はユニークな立場にある」

ネオコンの代表的若手指導者ウィリアム・クリストル氏が、ブッシュ政権発足直後の 2001 年 3 月に米下院軍事委員会で証言した際の一節だ。「米国は突出した軍事力、最大の経済、普遍的な政治原則を持つ唯一のスーパーパワーだ。米国に挑戦できる競争相手国はない。この優位を長く将来にわたって維持するのが米国の戦略であるべきだ」

アメリカの変貌 「龍のように物を語る」

「この象徴の持つ、小羊のような角と龍のような声は、ここで表わされている国家の宣言と実行との著しい矛盾

を示すものである。国家が「物を言う」とは、その立法および司法権の活動のことである」大争闘下 161.

「龍や豹に似た獣によって(海獣)象徴される国々が表わした狭量と迫害の精神を持つ。...法王権に対する礼拝行為となるような何かの遵守を強要する」大争闘下 161.

「憲法には、『国会は、宗教の設立に関する、もしくはその自由な活動を禁ずる法律を制定してはならない』、また、『合衆国のいかなる公職につくに当たっても、その資格として、宗教的条件を課してはならない』」大争闘下 162.

獣の像

「初代教会は、福音の単純さを離れて墮落し、異教の儀式と習慣を受け入れたときに、聖霊と神の力を失った。そして、人々の良心を支配するために、世俗の権力の援助を求めた。その結果が、法王権であって、それは、国家の権力を支配し、それを教会自身の目的、特に「異端」の処罰のために用いた教会であった。米

国が獣の像を造るためには、宗教的権力が政府を支配し、教会が、教会自身の目的を遂行するために、国家の権力を用いるようにならなければならない。...

政府の支持を求めるようになったのは、背教のためであった」大争闘下 162.

「米国の主要な教会が、その共通の教理において合同し、国家を動かして教会の法令を施行させ、教会の制度を支持させるようになるそのときに、プロテスタント・アメリカは、ローマ法王制の像を造り、その必然の結果として、反対者たちに法律上の刑罰を加えることになるのである」同 165.

「『獣の像』は、プロテスタント諸教会が自分たちの教義を強制するために公権力の助けを求めるときに起きてくるところの、そうした背教のプロテスタント教会を表わしている」同 165.

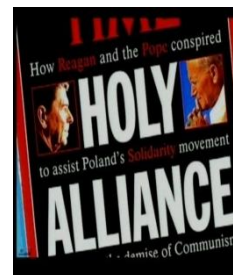
「獣の像であるプロテスタント世界」 最終時代の諸事件 83. マラナタ 214.

合衆国憲法修正箇条

〔修正第一条から第一〇条までは、合衆国憲法の「権利の章典」(Bill of Rights)と呼ばれる。一七九一年確定〕
修正第一条 連邦議会は、国教の樹立を規定し、もしくは信教上の自由な行為を禁止する法律、また言論および出版の自由を制限し、または人民の平穩に集会をし、また苦痛事の救済に関し政府に対して請願をする権利を侵す法律を制定することはできない。

時は迫る！

「アメリカは1984年1月10日に完全な外交関係を樹立し、1世紀もひそかに続けてきた求婚を完了した」ニューズウィーク “聖なる同盟”



ブッシュ前大統領の言葉

「真に偉人の一人、ヨハネ・パウロ2世に榮譽を与える最上の方法は、彼の教えをまじめに受けとめ、彼の言葉を聞き、彼の言葉と教えをこのアメリカにおいて実行に移すことである。」パトリシア・ザポア カトリックニュースサービス 2001/3/24



備えよう！

1. 「もしそんなことになれば、わたしたちの仕えている神は、その火の燃える炉から、わたしたちを救い出すことができます。また王よ、あなたの手から、わたしたちを救い出されます。

たといそうでなくても、王よ、ご承知ください。わたしたちはあなたの神々に仕えず、またあなたの立てた金の像を拝みません」ダニエル3：17、18

2. 詩篇 73：22

「わたしは愚かで悟りがなく、あなたに対しては獣のようであった」

我々は「神の像」に造られた。「獣の像=自己中心、わがまま」から解放されて、創造当初の人間の尊厳が回復される時が来た。

3. 黙示録5:12 「ほふられた小羊こそは、力と、富と、知恵と、勢いと、ほまれと、栄光と、さんびとを受けるにふさわしい」。